

# 救命救急センター 入局説明会

東京女子医科大学 救急医学講座では、

- ① 2025年度の救急科専門医プログラムの専攻医
- ② スタッフ(若干名)を募集いたします!

日時: 6月22日(土曜日) 16:00-18:00

場所: 第1病棟 第1会議室及び Online

下記 URL より事前申し込みをお願いいたします。

<https://forms.gle/xi4U7ahfTWjZ7Xit6>



当日は当施設の紹介、研修プログラムについて

zoomを利用して説明いたします。

主には後期研修医募集の説明となりますが、スタッフ希望の方も  
ご遠慮なく参加くださいませ。

# 東京女子医科大学 救命救急センター救急科専攻医プログラム

## 当教室の概要

～3次救急医療と全身管理・集中治療を要する2次救急患者対応を修得するために～

### ① 令和6年新体制による始動！！

2024年5月、森教授が着任し新体制となりました。今後はより一層他科との連携を密にし、2023年度3543台の実績を上回る施策を始めております。森教授は米国医師免許(ECFMG・USMLE step 3)を取得後米国のレベルI外傷センターで2年間のフェローシップを修了、さらに外科スタッフを経験されています。Acute Care Surgery (ACS)、外傷外科を専門とし、複数のサブスペシャリティーにも精通しています。将来的に海外留学を志す者を積極的に支援します。また、各施設との連携を活用し、様々な分野で活躍する救急医を育成します。

### ② 特殊重症患者ER/ICU診療

当院は救命救急センターICU12床、救急一般病棟18床のほか、一般ICU、外科ICU、CCU、SCUを有し、救命救急ICUは集中治療医学会専門医研修施設となっています。また、当院は40の診療科を持ち、かかりつけ患者の特殊性・希少性が他院と比較して際立っております。CPA/心肺停止蘇生後、敗血症ショック、重症心不全、重症呼吸不全、脳神経疾患、腹部救急疾患など幅広い疾患に対応し、人工呼吸管理、NO吸入療法、心肺補助装置(ECMO)、循環補助装置(IABP・Impella)、急性血液浄化(CRRT・PMX-DHP・PE)、体温管理療法、持続脳波モニタリング等を行っており、救急科専門医、集中治療専門医取得に十分な診療経験を積むことが可能です。

### ③ 3施設救命救急センターでの幅広い研修体制

東京女子医科大学は本院、足立医療センター、八千代医療センターの3つの救命救急センターを有しています。それぞれが異なる特色を持ち、相互の協力のもと各センターで多様な症例を経験することが可能です。現在ACSは足立医療センターで行っていますが、今後は本院でも緊急手術可能な体制を確立し、積極的に外傷や手術症例を受け入れてゆく方針です。

#### ④ 女性の働きやすい、「働き方改革」に対応した勤務体制

現在、常勤医師 6 名、非常勤医師 5 名、後期レジデント 1 名、診療看護師 1 名、救急救命士 1 名の体制で診療に取り組んでおり、常勤医師の増員と救急救命士枠の拡大を計画しております。また、救命センター専従の臨床検査技師、薬剤師、臨床工学技士、管理栄養士、MSW とともにチーム医療を実践しています。

勤務は完全シフト制で、週 38 時間勤務です。朝夕 1 回ずつ申し送りを行い、当日のイベントや治療方針の確認を行います。希望する者を除き夜間・休日の呼び出しはなく、研究、論文執筆等に打ち込める環境が整備されています。働きながら学位取得も可能です。

また、女性救急医への門戸を広くし、サブスペシャリティ—専門医の取得を推進、さらに常勤でありながら私生活との両立を生涯にわたり支援する体制を整えています。

#### ⑤ 災害医療(日本 DMAT/東京 DMAT/日本 JMAT)

当院は災害拠点病院の指定を受けており、その使命を果たすべく、災害関連の活動にも参加しています。能登半島地震には災害医療支援として 2 チーム派遣いたしました。今後も災害訓練、災害出動、地域防災への協力等を積極的に行ってゆく方針です。

連絡先

\*\*\*\*\*

武田宗和 森 周介 並木みずほ 大城拓也

東京女子医科大学 救急医学講座

〒162-0054 東京都新宿区河田町8-1 Tell: TEL: 03-3353-8112(内 36085) \*

\*\*\*\*\*